



脈は、体のどこで測れるの

おもに手首の内側や首など

脈というのは、心臓の動き（拍動）を、動脈のトクトクという動き（脈拍）で測るものです。

動脈には、心臓から出て勢いのある血液が流れています。そのため、動脈をおさえると、心臓の動きや血液の流れが、よくわかるのです。

動脈は、体の中の深いところを通っているのですが、皮ふを通しては見ることはできませんが、手首の内側や首など、さわってみるとトクトクと動くところがあり、動脈の動きは、感じるすることができます。ですから、脈を測るのは、おもに手首の内側や首などなのです。

動脈と静脈のつくりのちがい

動脈は心臓を出ていく血管です。心臓から、勢いよく送り出される、血液の圧力にたえられるように、かべは厚くできています。

静脈は心臓に帰ってくる血管です。血液に勢いがないので、かべはうすくできています。そして、中には、血液が逆流しないように、ところどころに弁があります。弁は、頭の部分と胴の部分にはありません。（監修・保志 宏）

